

ビジョンの実現に向けた人材像を明らかにして、そのための知識・スキル等の習得・研修機会を提供することにより従業員の能力向上を図り、適正評価の仕組みを構築し能力を十分に発揮できる職場づくりに努める。

人材育成

みらかホールディングス人事本部では、2015年度から継続し、毎年「みらかタレントレビュー」を実施しています。グループ国内外全従業員の一人ひとりの適性に着目し、適材適所に配置するプロセスを年次で運用する取り組みです。人材を発掘、選抜育成して、人材の状況をレビューすることで、従業員個々のキャリア計画、能力評価のアセスメント、個人の能力開発に役立てています。研修においては、管理職を対象に毎年実施しているMMDP(Miraca Management Development Program)においては、みらかグループの理念である「価値観・行動様式」に対してより深く理解することで、企業文化の醸成を図り、評価者訓練と人事マネジメントの強化するグループの企業価値を支える人材の育成に取り組んでいます。新任管理職研修、新入社員研修などの階層別研修もグループ各社が参加する合同研修として、可能な限り統一した内容で実施することで意識の醸成を図っています。

また、業務に特化した専門研修は各社で実施しています。エスアールエルでは2017年に教育研修センターを設置し、効率、効果的に研修を実施できる体制を整えました。富士レビオではDMR(臨床検査薬情報担当者)の育成を、経営に関わる重要課題として力を入れています。DMRには高い専門性、広い視野、柔軟な対応が必要となってきます。このため、臨床検査薬情報担当者認定制度の資格試験合格に向けた研修や模擬試験を制度化し、さらに段階的に能力向上を図る研修を行っています。販売部門に属する若手社員をマーケティングや生産、開発などの他部門に派遣し、仕事を体験させる制度も設けており、これらは研修では得られない学びや気づきを得る機会となっています。

CSRマインドの醸成

2017年7月、みらかホールディングス、エスアールエル、富士レビオの全31部門より各々の部門の業務側面を踏まえたCSR活動を牽引するCSR部門代表者を任命しました。CSR部門代表者とCSR推進部が連携することで、CSR研修や双方向のコミュニケーション、全員参加をキーワードとした部署別CSR活動を展開してきました。

双方向コミュニケーションにおいては、各社のCSR活動を支援すべく、「CSR NEWS LETTER」の発行や表彰制度の設置を行っています。「CSR NEWS LETTER」では、社内の動きやCSRへの理解を深める情報を掲載しています。表彰制度は、CSRの4つの活動領域の浸透と領域ごとの優れた事例を表彰しています。

また、本業に留まらずグループ従業員が持つ知識や体験を発表し、他の従業員が聴講できる機会「みらかライブラリー・カフェ」を隔月で実施しています。

研修名	対象	人数	時期	主な目的
CSRキックオフセッション	主要3社の全本部長	25名	7月	みらかグループの新CSRモデル・体制の共有
CSR部門代表者セッション	全CSR部門代表者	30名	7月	CSRの各業務側面と活動候補の抽出のワークショップ
CSR従業員説明会	主要3社全従業員	801名	8-9月	CSRの知識、みらかグループの今後の取り組みの共有
GRI説明会	全CSR部門代表者	27名	12月	GRIスタンダード、ESG評価など



CSR 従業員説明会
(2017年8月 八王子事業所)

チーム一丸となって、難関資格に挑む

私たちが取得を目指す臨床病理技術士(二級)および細胞検査士の認定は、あらゆる検査の中でも難易度が非常に高いことから、チーム全体でフォロー体制を構築しています。特に細胞検査士の認定には、複数年の計画を立て各工程単位でコーチをつけて試験に挑みます。今後は、各試験に合わせた人材育成体制とともに、取得までのフォローを構築し、従業員の自己実現にもつなげる資格取得を目指します。



エスアールエル 検査部門
病理・細胞診部



Voice

事例紹介